

2020年3月期

株主通信

株式会社スカパーJSATホールディングス

証券コード:9412



SKY Perfect JSAT
Holdings Inc.





代表取締役社長

米倉 英一

Eiichi Yonekura

スカパーJSATグループ「プラン2020+」のもと、 企業価値のさらなる向上を図ります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染症によって亡くなられた方々やそのご遺族、また罹患された方々には謹んでお見舞いを申し上げます。

当社では従前から災害等に備えて整備していたBCP(事業継続計画)に則り、2月28日以来在宅勤務体制に切り替え、サービスを継続してまいりました。また、休校措置に合わせてスカパー! サービスの

一部無料放送を行うなど、少しでも皆様のご不便を解消できるよう対応させていただきました。一方で、緊急事態宣言が発せられる中、従業員や監査業務従事者の安全確保に十分な配慮をしながら決算・監査手続きを進めるために、2020年3月期の決算発表を6月25日に延期いたしました。また同時に第13回定時株主総会にかかる基準日も5月31日に変更し、株主の皆様にはご迷惑とご心配をおかけしたことを深くお詫びいたします。

2020年3月期業績への新型コロナウイルス感染症の影響は軽微でありましたが、前期にあった防衛省向け通信衛星売却の剥落等により営業収益は減収、営業利益も減益となりました。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は連結子会社間の吸収合併に伴う税金費用の減少により前期比増益となりました。

足元の2021年3月期については、メディア事業ではプロ野球など各種スポーツコンテンツ等の開幕の遅れによる視聴料収入の減収や、宇宙事業では航空機や船舶等の移動体通信需要減など新型コロナウイルス感染症の一定の影響を想定しておりますが、2020年4月にサービスを開始した通信衛星JCSAT-17の収益貢献により増収を見込んでいます。しかしながら前述の一時的な減収要因に伴い減益となる見込みです。

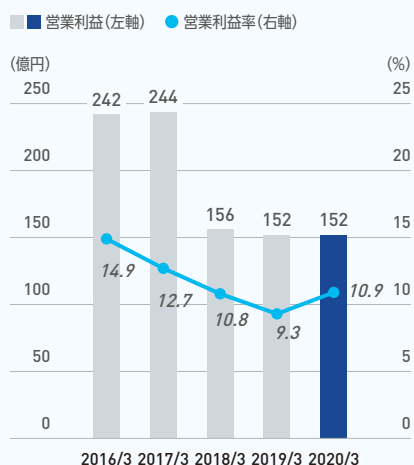
「プラン2020+」 REPOWERING, REBUILDING, REBRANDING

メディア事業における多種多様な動画配信サービスとの競争の激化、宇宙事業も技術の革新と新たな関連ビジネスの興隆

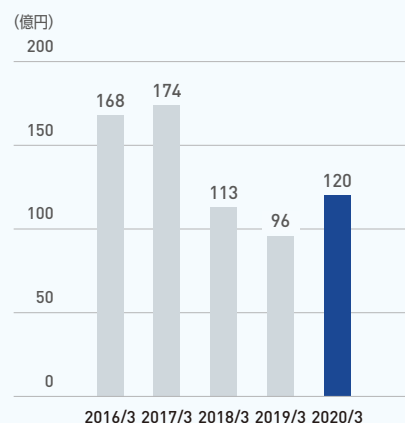
➤ 営業収益



➤ 営業利益／営業利益率



➤ 親会社株主に帰属する当期純利益



など当社を取り巻く環境の変化はますます激しくなっています。コロナ禍にあっても変革を先延ばしにすることはできません。そこでこの度、2020年度とその先を見据えた「プラン2020+」を発表いたしました。このプランのもと、企業価値のさらなる向上を目指します。

当プランでは、REPOWERING、REBUILDING、REBRANDINGを3本の柱に据えて改革を行っていきます。

REPOWERING：コロナ禍を通して得た経験を活かして従業員の働き方を見直し、多様なライフスタイルとワーキングスタイルの両立によって従業員のモチベーションと生産性の向上を図る制度を設計いたします。

REBUILDING：メディア事業では

コンテンツのコアなファンとのあらゆる接点を通じてビジネス機会を周辺領域に展開してまいります。放送権・配信権を獲得したブンデスリーガとのパートナーシップ契約の締結もその1つです。宇宙事業においても、競争優位性を活かしつつ、従来から進めている衛星からのデータ利活用ビジネスへの展開に加えて、事業領域の拡大に挑戦します。

さらに、スカパーJSATグループの企業価値は、メディアと宇宙を併せ持つ極めてユニークな事業体としての独自性追求により向上するものと考えています。他社に真似できない、唯一無二のスカパーJSATらしさを具現化したビジネス開発に注力します。

REBRANDING：宇宙ビジネスが注目されている今の好機を逃さず、30年に

わたる衛星運用実績と、多様なエンターテインメントをお届けするメディアの力を掛け合わせた当社の可能性を、対外的にもより広くアピールしてまいります。

また、コーポレート・ガバナンス強化の一環として、役員報酬制度を見直し、当社取締役と主要子会社であるスカパーJSAT株式会社の取締役及び執行役員等を対象に譲渡制限付株式報酬制度を導入いたしました。これにより、株主の皆様とより一層の価値共有を進め、持続的な企業価値の向上を目指します。

安定した顧客基盤のもと 財務的安定性を確保

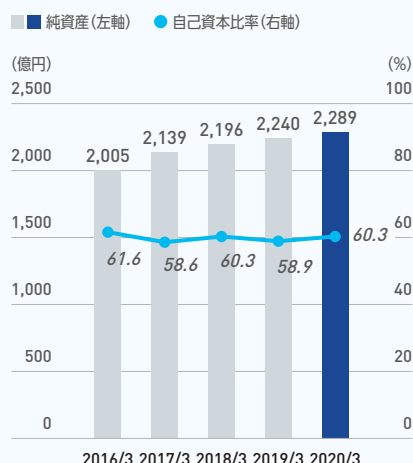
メディア事業、宇宙事業とも安定的な顧客基盤に基づく事業であり、衛星調達や放送設備構築等の大規模な投資が一段落したことから、2020年3月期からはフリー・キャッシュフローがプラスに転じています。今後も財務的安定性を確保しながら、適切に株主還元を行ってまいります。

2021年3月期の1株当たりの年間配当額は、18円を予定しています。

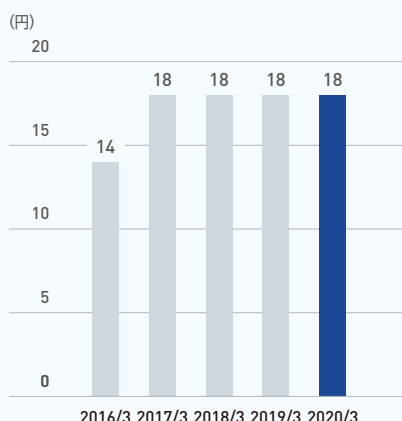
株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



純資産／自己資本比率



1株当たり年間配当金



2021年3月期業績予想

営業収益	1,400億円
営業利益	120億円
親会社株主に帰属する当期純利益	80億円

(注) 2021年3月期業績予想には、年度を通じて一定の新型コロナウイルス感染症の影響を見込んでおりますが、今後の状況の変化によって業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに開示いたします。

メディア事業

MEDIA BUSINESS



2020年3月期の取り組み

テレビ1台分の料金の3台まで追加料金なしで50チャンネルが見放題となる「スカパー! 基本プラン」の契約件数は、2020年3月末時点で500千件（前期末比200千件増加）となりました。引き続き視聴環境を整備することにより、視聴人数・視聴時間の増加及び満足度の向上を図り、解約抑止と加入者数の増加を目指してまいります。

プロ野球はセ・パ12球団公式戦のテレビ生中継に加え、「スカパー! オンデマンド」でも同時ライブ配信をしております。海外サッカー「ドイツ ブンデスリーガ」は、全試合放送のほか、オンデマンド専用商品である「ブンデス・ポルトガルLIVE」を配信しております。また、2020年3月1日には総合スポーツチャンネルスポーツライブ+（プラス）を開局し、2020年シーズンの放送権を獲得したプロ野球福岡ソフトバンクホークスの主催試合を中心に、海外サッカーや国内サッカー、B.LEAGUE等のスポーツ中継を行い、スポーツコンテンツをより多くのお客様にお楽しみいただけるようになりました。

スカパー! × ブンデスリーガ
新パートナーシップ契約締結!

2024/25シーズンまで5シーズンにわたる
ブンデスリーガ独占放送権・配信権獲得

既に18/19シーズンから2シーズン目の放送・配信を行っているドイツのブンデスリーガと、今回新たに24/25シーズンまでの5シーズンの権利を更新しました。

ブンデスリーガは欧州4大リーグの1つであり、欧州主要リーグの中では最多の平均観客動員数と平均ゴール数を誇る熱狂的なリーグです。

今回締結したパートナーシップ契約のもとに、これまでの放送権・配信権という概念を超えて、共同でマーケティングを行うことで、それらも含めたスポーツマーケティングビジネスへ進出していきます。今後スカパー! はブンデスリーガと日本のファンをつなぐための積極的なファン・マーケティングを実行します。

ブンデスリーガのクラブを日本に招聘したプレシーズンマッチの開催や、ブンデスリーガ・アンバサダーを招いたイベントの実施、ロゴなどの商標を用いた新たなビジネス展開など、ブンデスリーガの魅力を十分活かした様々なビジネスを日本国内で展開していく予定です。

また、スカパー! 契約者のみならず、全国のケーブルテレビや、

宇宙事業

SPACE BUSINESS



2020年3月期の取り組み

移動体通信の既存顧客による長期利用を目的として、2020年2月にJCSAT-17（軌道位置：東経136度）の打ち上げを実施いたしました。今後、静止軌道上での性能確認試験を経て運用を開始する予定です。

航空機向けインターネット接続サービス事業者への衛星回線の提供は、導入機数の増加や機内利用の拡大により、2019年度は堅調に推移しました。

グローバル・モバイルビジネスの拡大及び競争力の強化のため、2019年12月にハイスループット衛星（従来よりも伝送容量を大幅に拡張した衛星。以下「HTS」）であるJCSAT-18（軌道位置：東経150度、軌道上名称：JCSAT-1C）の打ち上げを実施し、2020年2月より運用を開始いたしました。また、前期に打ち上げたHTSのHorizons 3eは、順調に収益を拡大しております。

新たな技術の活用や事業領域拡大への取り組みにおいては、衛星画像販売サービスが、政府系機関や民間の農業・災害対策・遠隔監視等の分野で順調に契約を獲得しております。

～宇宙のSDGs～
持続可能な宇宙環境の維持を目指して

世界初、宇宙ごみをレーザーで除去する
衛星を産学連携で設計・開発

スカパーJSAT株式会社は、理化学研究所、JAXA、名古屋大学、九州大学と連携し、世界初*となる、レーザーを使う方式により、スペースデブリ（不用衛星等の宇宙ごみ）を除去する衛星の設計・開発に着手します。なお、本事業は2026年のサービス提供を目指します。※自社調べ

人工衛星は天気予報、衛星通信やGPSによる位置情報といった様々な形で安心な社会と快適な生活を築いてきました。一方で、使われなくなった人工衛星や故障した人工衛星、打ち上げに用いられたロケットの部品や衝突した様々な人工物の破片などが加速度的に増え続けています。そのような宇宙ごみが人工衛星に衝突することで、衛星のミッション終了などのダメージを引き起こす可能性があります。

スカパーJSAT株式会社は宇宙空間に漂う制御不能な衛星など宇宙ごみを遠隔からレーザーで照射して、少しずつ「押す」ことにより軌道修正を図り、地球の大気圏に追いやるといったアプローチを採ります。

放送・配信商品「スカパー! サッカーセット」



スカパー!
サッカーセット
加入ガイド
(右記QRコードから
ご覧いただけます)



料金:3,035円/月(税込)

※ご加入月は0円でご視聴いただけます。
※基本料429円(税込)/月が別途必要です。

配信内容

ドイツ ブンデスリーガ全試合、ポルトガルリーグ、イタリアセリエA、ベルギーリーグなどの欧州リーグに加え、JリーグYBCルヴァンカップなどの国内サッカーも見られる!

ネット配信限定商品「ブンデス・ポルトガルLIVE」

ブンデス・ポルトガル LIVE



ブンデス・
ポルトガルLIVE
特集サイト
(右記QRコードから
ご覧いただけます)



料金:999円/月(税込)

配信内容

19/20 ドイツ ブンデスリーガ
19/20 ドイツ ブンデスリーガハイ
ライト(英語コメンタリーのみ)
19/20 ポルトガルリーグ

7月1日時点

スカパー! オンデマンド・Amazon Prime Video チャンネルで提供している「ブンデス・ポルトガルLIVE」でもブンデスリーガを徹底的に楽しめるように、コンテンツを提供してまいります。

新型コロナウイルスへの対応



自宅待機を応援!

無料放送やイエナカ応援キャンペーンを実施

スカパー! では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策としての全国小中高の休校や自宅待機の状況に対応して、3月4日から、一部チャンネルで無料放送を実施しました。また、「家を楽しむのは、テレビだ。」と実感いただくため、2020年4月29日～2020年6月30日に新規でお申し込みのお客様を対象に、基本プランを最大2ヵ月無料でご覧いただけるキャンペーンを行いました。

さらに、ご契約されているお客様を対象に、視聴料等のお支払い期限及び解約申し込み受付期間を延長いたしました。

スカパー! カスタマーセンターでの縮退運用の実施

スカパー! カスタマーセンターでは、3月6日より営業時間の短縮を行いました。4月22日からは政府の基本方針を踏まえ、営業時間の短縮に加え、ソーシャルディスタンス確保のための座席の間引き対応など、営業の縮小を行いながら、サービスの提供を継続しました。



下記QRコード
からダウンロード
できます。

新型コロナウイルスへの対応

「くもろぐ」アプリ、外出自粛が本格化した 3月下旬からダウンロード数が10倍以上に

「くもろぐ」は、5万枚以上の雲の写真記憶したAI(雲観測人工知能“KMOMY”(くもみ))が10種類、27状態の雲に判別し、雲の名前を教えてくれるアプリです。お子様の「この雲なあに?」という「知りたい」気持ちにすぐに答えられ、「学び」というプラスαもあることから、外出自粛中のご家族の楽しいコミュニケーションに役立ちました。また、家で使える学習アプリとして、幼稚園・小学校・学習塾等で紹介されました。

今後「くもろぐ」が、空や気象・宇宙に関心を持っていただく機会創出につながることに期待しています。



横浜衛星管制センターでの縮退運用の実施

横浜衛星管制センターでは、新型コロナウイルスの感染被害抑止と従業員の安全確保のため、4月7日の緊急事態宣言発令を受けて縮退運用を実施しました。平日日勤業務の人員の約85%を在宅勤務としたうえで、オフィス内での移動可能範囲をグループごとに限定、グループをまたぐ接触を最小限にとどめながらサービスを継続しました。

人工衛星等が大気圏に突入すると、通常はその大部分が落下中に焼失してしまうため、結果として宇宙ごみが除去できます。このレーザー方式は接触しないため安全性が高く、またレーザー搭載衛星が宇宙ごみを移動させる燃料を持たなくてよいという経済性が高いという利点があります。

スカパー! JSAT株式会社では、これまで衛星の運用でも宇宙ごみを出さないように事業を進めてきましたが、宇宙が宇宙ごみによって利用しづらくなってくるのは明らかです。宇宙ごみ問題は宇宙の環境問題と捉えることもできます。30年以上にわたり、宇宙を利用し様々なサービスを提供してきたからこそ、持続可能な宇宙環境の維持に能動的に取り組む意義があり、ビジネスとしてはもちろんのこと「宇宙のSDGsとしての社会貢献」の側面からも本プロジェクトの成功に向けて取り組んでいきます。

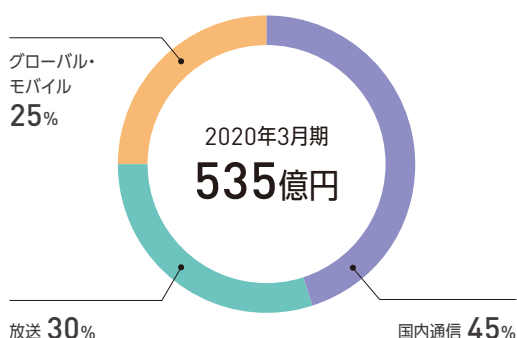


日本で唯一、そしてアジア最大の衛星通信事業者であるスカパーJSATグループ。

既存衛星を利用した通信サービスの提供に加え、低軌道衛星から撮影した画像を解析し、付加価値を付けて販売する情報サービスも新たな収益源として拡大しています。

30年にわたる衛星運用で得た知見やネットワークを活かして“通信”の可能性を広げ、新たなビジネスやサービスを提供することで、これからもこの国の安心、安全、快適を支えています。

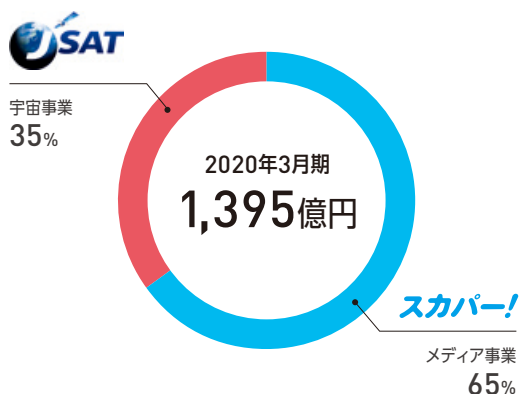
宇宙事業 営業収益構成比



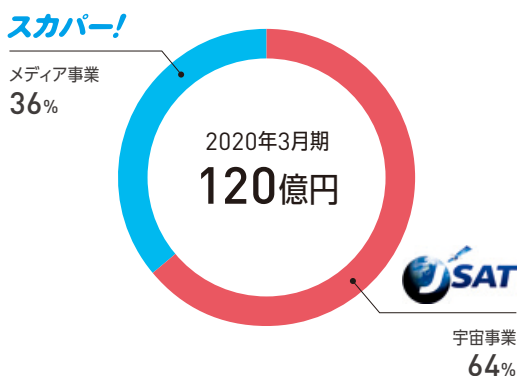
グローバル・モバイル

日本国内のみならず、東南アジアやロシアでも通信や放送に利用されています。航空機向けWi-Fiや船舶でのインターネット通信にも利用されています。

営業収益構成比※



親会社株主に帰属する当期純利益構成比※



※営業収益、親会社株主に帰属する当期純利益の構成比は、セグメント間の内部取引及び調整額を含んで算出しています。

GLOBAL & MOBILE

放送

スカパー!の各チャンネルを放送する事業者が利用。日本全国のご家庭に楽しさをお届けしています。

BROADCASTING

SATELLITE

北米上空からインド洋上空にかけて、上空36,000kmの静止軌道上に静止衛星18機と、低軌道衛星1機、

合わせて19機を保有。

これらの衛星を利用して、日本のみならず、アジア・オセアニア、極東ロシアから太平洋に向けて、様々な通信サービスを提供しています。

➤ 2020年3月期に打ち上げた衛星

名称	サービス開始	用途
JCSAT-1C (JCSAT-18)	2020年 1月	当社2機目の大容量ハイスループット衛星。 アジア太平洋から極東ロシアをカバー。
JCSAT-17	2020年 4月	日本及び周辺海域向けの移動体通信用 として株式会社NTTドコモが長期利用。

SPACE BUSINESS

衛星通信サービス提供を通じて持続可能な社会の実現へ

国内向け通信

官公庁や、通信、電力、鉄道など
ライフラインを支える企業の通信インフラの
バックアップや携帯キャリア基地局間通信、
離島や山間部など通信未整備地域の
情報格差解消にも役立っています。

COMMUNICATION SERVICES

第13回株主様アンケート結果のご報告

IR活動に
期待すること

1位

株主通信の充実

宇宙事業に関する情報を充実させました。幅広い事業領域や関連指標へのご理解を深めていただけるよう改善を続けていきます。

2位

当社企業ホームページ内
情報の充実

2019年6月に当社ホームページを大幅にリニューアルしました。皆様の利便性を高めるとともにグループ企業も含めた情報発信を強化していきます。

3位

投資家向け説明会の拡充

2019年12月、2020年2月に個人投資家説明会を実施いたしました。

会社概要 (2020年7月30日現在)

会社名	株式会社スカパーJSATホールディングス (SKY Perfect JSAT Holdings Inc.)
設立	2007年4月2日
資本金	100億円
従業員数	884名(連結)(2020年3月31日現在)
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1
電話番号	03-5571-1500(代表)

取締役・監査役

代表取締役会長	高田 真治	取締役(非常勤)	中谷 巖
代表取締役社長	米倉 英一		飯島 一暢
			小杉 善信
取締役	仁藤 雅夫		藤原 洋
	福岡 徹		大賀 公子
	大松澤 清博	監査役	西村 至
	小川 正人		小川 晃
		監査役(非常勤)	高橋 勉
			大友 淳

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
配当の基準日	期末配当3月31日 中間配当9月30日
取引市場	東京証券取引所 市場第1部
証券コード	9412
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

お問合せ先

お取扱窓口	証券会社に口座をお持ちの場合、各お取引の証券会社等へお問合せ下さい。証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記「お取扱店」にてお取次いたします。
お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店	みずほ証券 本店および全国各支店/ プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払 配当金の お支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次ぎのみとなります)

※支払明細の発行については、上記の「お問合せ先」または「お取扱店」をご利用ください。

免責事項

本株主通信に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、これらは、現在入手可能な情報に基づく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。

